



「魅力ある大学院教育」イニシアティブ

化学教育トリニティH18年度第1回特別講演会



Prof. Paul Anthony Madden

エジンバラ大学（イギリス）

主催 京都大学大学院工学研究科

「化学教育トリニティ」プログラム

（実施責任者 伊藤紳三郎）

共催 京都大学21世紀COEプログラム

～新しい物質変換化学の基盤構築と展開～

～学域統合による新材料科学の研究教育拠点～

「From first-principles to material properties: realistic studies of ionic melts and their electrochemical interface.」

講演内容：Paul A. Madden 教授は、分子動力学（MD）法を中心とした計算機シミュレーションによる物質の構造と性質の研究において世界的指導者のお一人です。現在は、新しいシミュレーション用ポテンシャル関数の開発やCPMDなどの基礎研究、およびこれらを基にした材料開発等を行っておられます。今回、日本学術振興会の外国人招聘研究者（短期）として滞在されており、この講演はその一環として行われるものです。

講演会場： 京都大学 桂キャンパス 化学系講義室4 （A2棟307号室）

日時： 平成18年6月19日（月） 15：30—17：30

連絡先： 分子工学専攻 佐藤啓文 E-mail：hirofumi@moleng.kyoto-u.ac.jp

Tel：075-383-2548 Fax：075-383-2799